

カッティングシート®

このテンプレートにはデータ作成での注意点を記載しています。弊社からデータチェック時によくお問い合わせさせて頂く[6項目](#)とその修正一例を記載していますのでデータ作成時にご確認ください。

※下記の修正例はあくまで一例です。ご紹介している修正手順で作業して頂いた場合でもデザインによってはバスの合体や移動することで意図しない形になることもあります。必ず入稿前に問題が生じていないかご確認ください。

ケース1 デザインの太さは1mm以上で作成ください

NG



OK



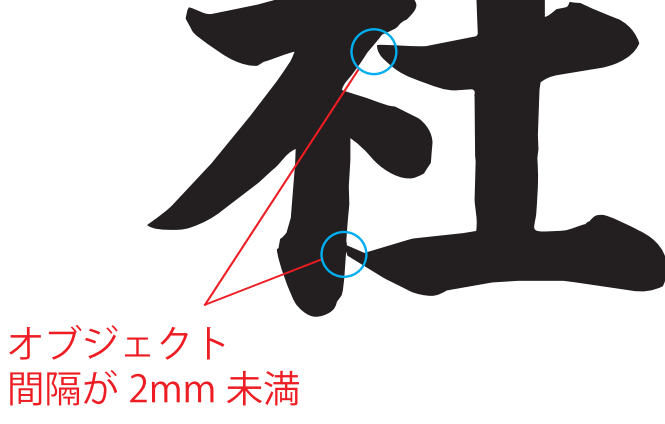
修正例・・・文字を太らせるケース

- ・フォントスタイルを「Bold」にするなどして太くする
- ・「ゴシック体」などの太いフォントへ変更する
- ・文字を拡大する
- など

→上記修正を行った際は必ず[ケース2-6](#)の項目に沿って問題がないかを再度ご確認ください。

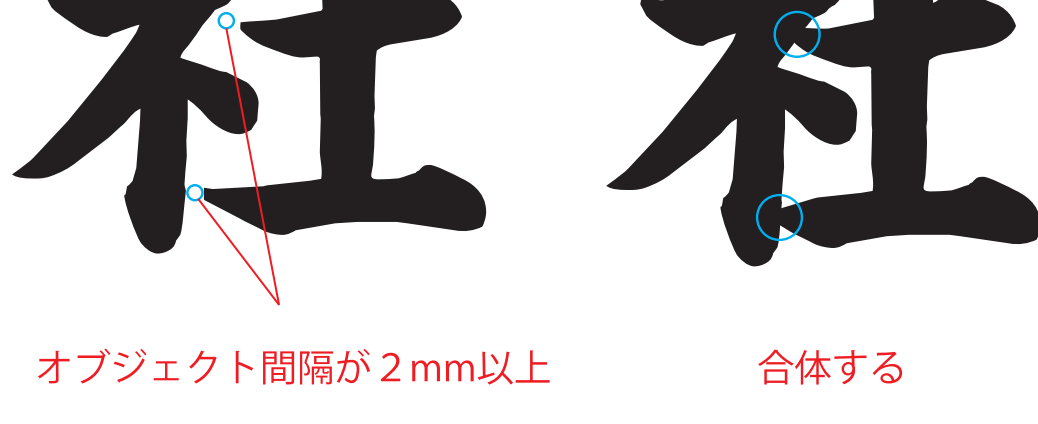
ケース2 オブジェクト同士の間隔は2mm以上確保してください

NG



オブジェクト
間隔が 2mm 未満

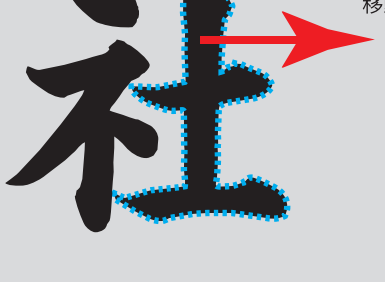
OK



オブジェクト間隔が 2mm 以上

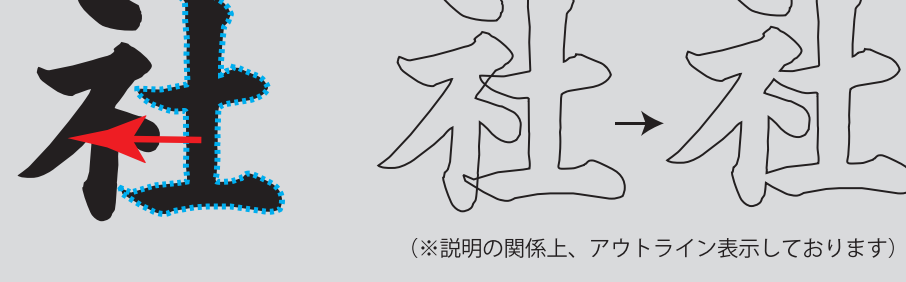
合体する

修正例1・・・2mm以上の間隔を確保するケース



「土」だけをダイレクト選択ツールで
選択して右側に移動します。

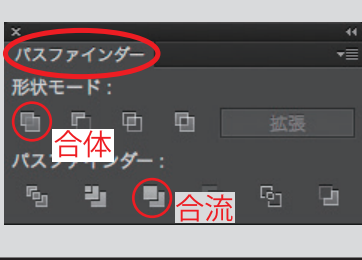
修正例2・・・合体するケース



(※説明の関係上、アウトライン表示しております)

★便利ツール★

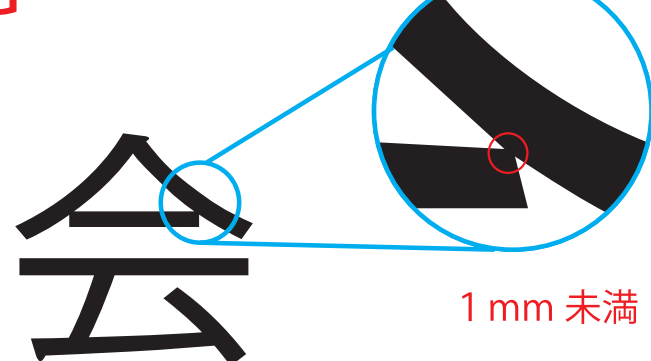
「社」を選択した状態でAdobe Illustrator の上部メニュー→オブジェクト→グループ解除をする。その後、同様にオブジェクト→複合パス→解除をすることで「ネ」「土」のパーツごとに編集できるようになるので便利です。



※「アウトライン表示」とは、パスの形状のみを表示する機能。Adobe Illustratorの上部メニュー表示→アウトラインで確認できます。

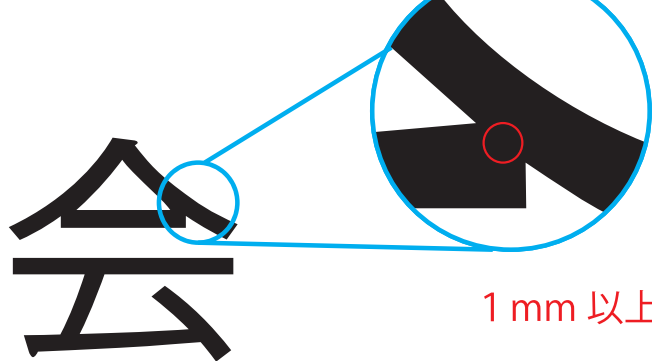
ケース3 オブジェクト連結部分の幅は1mm以上確保してください

NG



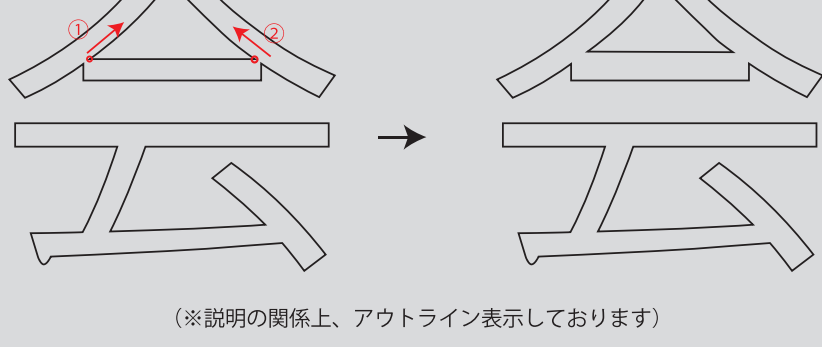
1 mm 未満

OK



1 mm 以上

修正例・・・1mm以上の間隔を確保



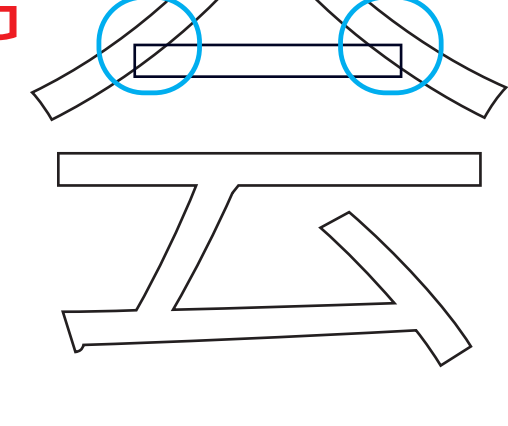
(※説明の関係上、アウトライン表示しております)

該当箇所 (①、②) をダイレクト選択ツールで1点ずつ上部に伸ばして間隔を確保します。

※「アウトライン表示」とは、パスの形状のみを表示する機能。Adobe Illustratorの上部メニュー表示→アウトラインで確認できます。

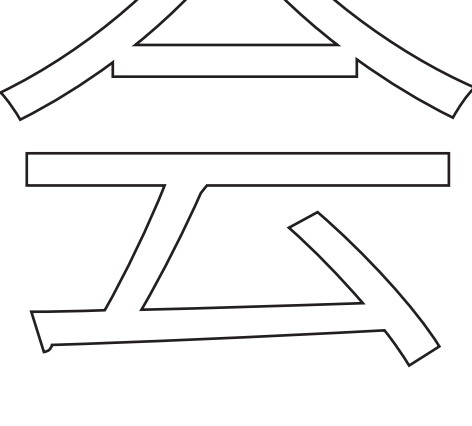
ケース4 オブジェクトが重なり合っている場合は合体してください (アウトライン表示でご確認ください)

NG

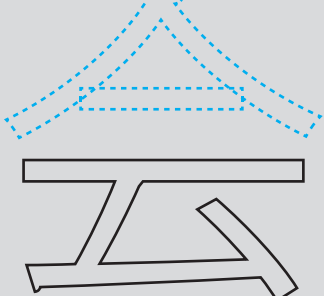


(※説明の関係上、アウトライン表示しております)

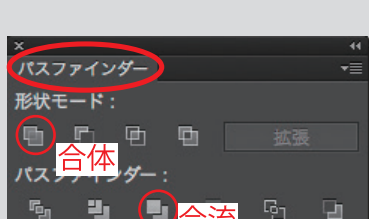
OK



修正例・・・パスの合体



合体させたい部分を選択します。



重なり合っている部分を全て選択し、Adobe Illustrator の上部メニュー→ウィンドウ→パスファインダーを表示し、「合流」や「合体」で交差して重なり合った部分が結合されます。

※「アウトライン表示」とは、パスの形状のみを表示する機能。Adobe Illustratorの上部メニュー表示→アウトラインで確認できます。

ケース5 パス・線のアウトライン化をしてください

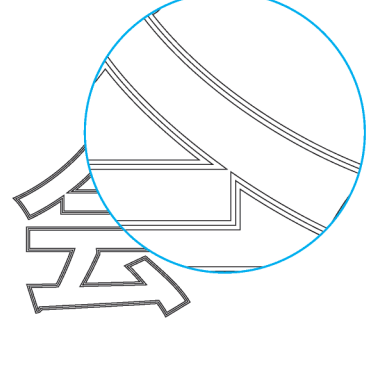
※デザインレイヤーのみ表示した状態でアウトライン表示をしてください。

NG

プレビュー表示



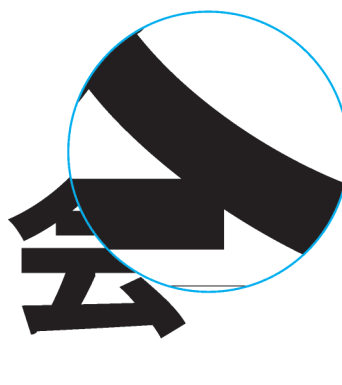
アウトライン表示



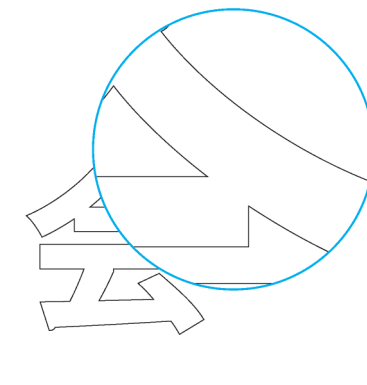
パスの合体やパスのアウトライン化をせずに入稿されますと、アウトライン表示のように複数箇所がカットされてしまいます。

OK

プレビュー表示



アウトライン表示



パスの合体やパスのアウトライン化をすると、プレビューの通りに仕上がります。

NG

プレビュー表示



アウトライン表示



アウトライン化されていない線 (パス) はヘアライン (線幅のない野線) となるため、プレビューと異なる状態で仕上がってしまいます。

OK

プレビュー表示

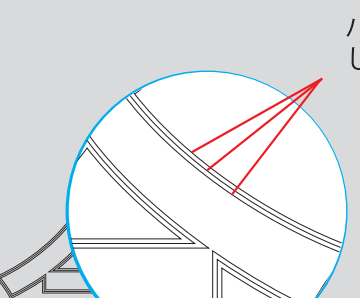


アウトライン表示



アウトライン化すれば、プレビューの通りに仕上がります。

修正例・・・パスの合体



パスが複合しており、カット位置が意図していないものとなってしまふ。

パスのアウトライン、パスの合体をすることで
カット位置は問題ないと確認できる。

(※説明の関係上、アウトライン表示しております)

- ①アウトライン表示 (Adobe Illustratorの上部メニュー→表示→アウトライン) をしてカット位置に問題がない (パスが複合していない) かを確認します。
- ②パスが複合しているものを全て選択する。この場合、「会」を全て選択する。
- ③Adobe Illustrato の上部ウィンドウ→パスファインダー対象同士を選択した状態で「合体」や「合流」をしてください。

※「アウトライン表示」とは、パスの形状のみを表示する機能。Adobe Illustratorの上部メニュー表示→アウトラインで確認できます。

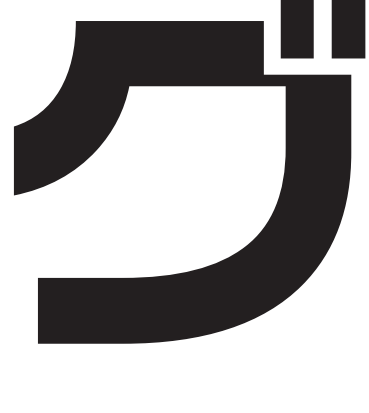
修正例・・・パスのアウトライン

線を選択した状態でAdobe Illustratorの上部メニューオブジェクト→パス→パスのアウトラインでアウトライン化をしてください。

ケース6 オープンパス数の確認方法

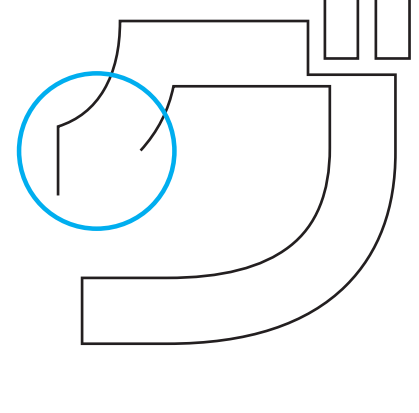
始点と終点が閉じられていない状態

例1)



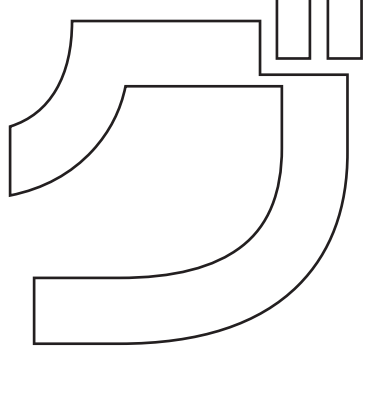
NG

オープンパス



OK

クローズパス

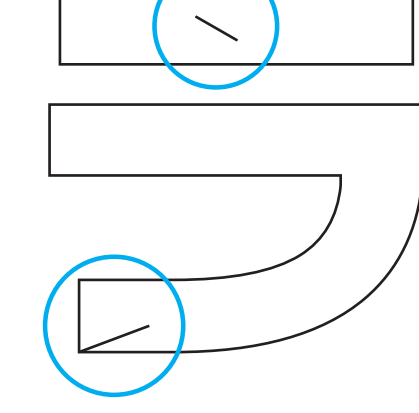


例2)



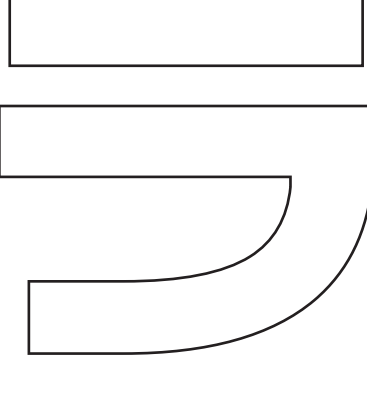
NG

オープンパス



OK

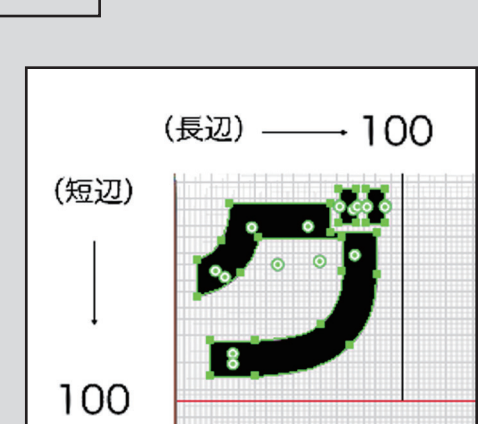
クローズパス



(プレビュー表示)

(※説明の関係上、アウトライン表示しております)

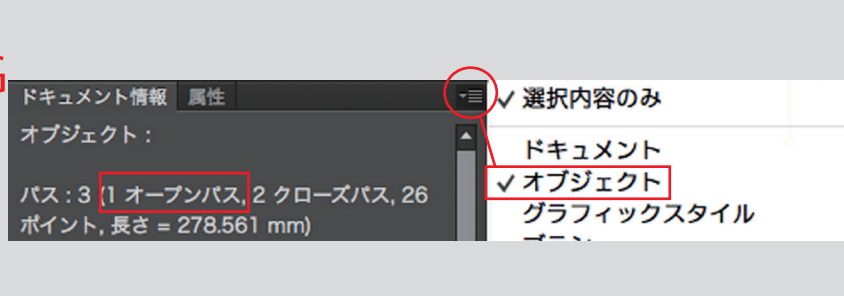
確認方法



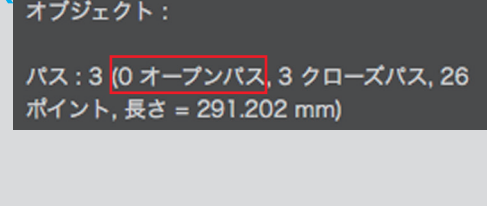
デザインのみを選択した状態でAdobe Illustratorの上部メニュー→ウィンドウ→ドキュメント情報を開き、パレットオプション→オブジェクトの情報よりご確認ください。

※テンプレートの「案内」「ガイド」レイヤーに鍵がかかっている状態でデザインのみを選択します

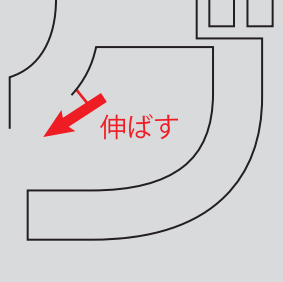
NG



OK

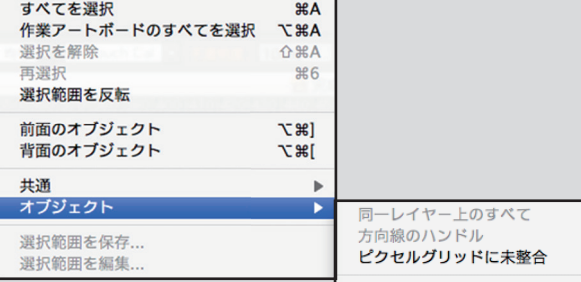


修正例1・・・パスの合体



パスを連結するように該当箇所を上部に伸ばします。
Adobe Illustrator の上部メニュー→ウィンドウ→パスファインダーを表示し、連結したいオブジェクトを選択後、「合流」や「合体」でクローズパスとなります。

修正例2・・・余分なパスの削除



Adobe Illustratorの上部選択→オブジェクト→余分なポイント→削除
※削除後、デザインに相違ないかご確認ください。